

第9回(2016年6月9日) 画面の設計と画面のリンク

第7回のレポートについて

「抽象化」 -- プログラム中には、可能な限り 「個別」のデータに属する名称は使わない。

> 「課題」で、:curry => 300などとサンプルを書いたのは、 「ひっかけ」です。

配列を複数用意して、indexで括り付ける。

→ ズレた時にデータエラーになる。

「属性」が三つ以上ある場合には、明らかに Classが有利。

抽象化とカプセル化

【抽象化】 個別のデータを「特別」扱いしない → データの「属性」ごとに処理を分けるのはOK 「固有の名前」を「プログラム」しない 【カプセル化】 「メニュー」という一般化したものの属性を、でき るだけ不必要に外に見せない。 (値段も、名前も、「表示」だけに使う)

Rubyには型がない?

型宣言はありませんが、全ての変数はいずれ かのクラスのインスタンスです。どのクラスの インスタンスかを意識しないと、バグの原因に なりやすいです。

> [irb(main):001:0> str = "ABC" => "ABC" [irb(main):002:0> str.class => String [irb(main):003:0> str = 12.5 => 12.5[irb(main):004:0> str.class => Float [irb(main):005:0> str = ["ABC", 3.1415, 12, { :a => "123" }] => ["ABC", 3.1415, 12, {:a=>"123"}] [irb(main):006:0> str.class => Array [irb(main):007:0> str = { :japan => "日本" } => {: japan=>"日本"} [irb(main):008:0> str.class => Hash irb(main):009:0>

第7回レポートの採点基準

HashかClassかいずれかで表示 \rightarrow B(7.5) その一通りを、ループで出力 (0.5点加点) 両方を試している。 \rightarrow A(8.5) 両方試したうち、一方をループで出力 \rightarrow 9 両方とも、ループで出力 \rightarrow S(9.5) 調べた内容が良い、考察が良いなど \rightarrow SS(10.5)

感想とコメント

【感想】プログラムを書いている最中には気にならなかったのですが、レポートにコードを写した時点で2つのプログラムの長さの差に気づき、驚きました。自分が作りたいプログラムの構造に応じて適した書き方を調べて実装することが効率化に繋がるんだなと思いました。

【コメント】いいことに気づいたと思います。プログラムの「良さ」は、長さだけではなく、読みやすさ(メンテ ナンスのしやすさ)、論理的な堅牢性(ロバストネス/ バグの出にくさ)、パフォーマンス(実行スピード)、 DRYなど様々な要素があります。

今日のテーマ

 WEB画面上で操作した時に、データがどう流れる か、データの流れをたどる。

- □ また、周囲の人のPCに直接アクセスして、他の人のWEB画面を表示してみよう。
 - Vmwareでのサーバ動作では、動作検証できていない部分があり、うまくいく人と、うまく行かない人がでる可能性がありますが、周囲の人にアクセスしてもらうというテーマで行います。

htmlでのform入力

- 「編集」edit.html.erbでは、 _form.html.erbが表示さ れる。
- _formは、form_forのメソ ッドで始まる。
 - このブロック内がhtmlに変 換された時に、<form>タグ で囲まれ、クライアントから は、この部分の入力が、サ ーバに送信される。
- Railsのメソッド
 - o form_for / form_tag
 - http://railsdoc.com/form



form_for, form_tagメソッド

Ruby on railsで、form_for, form_tagなどの メソッドを記述すると、HTMLのformに 変換される。

HTMLのformタグでは、画面からの入力を 受け付けて、パラメータをサーバに渡す。

デフォルトで、HTMLのPOSTメソッドになる。

HTMLからrubyへのデータ渡し

 htmlのformタグからPOSTされたデータを routes.rbで受け取って、どのコントローラ、 メソッドに渡すか解析



memos_controller.rb

- memosのコントローラは、memos_controller.rb
 - わかりやすいネーミング
- routes.rbでの記述

Controllerltmemosで actionltsearch

- post 'memos/search' => 'memos#search'
- 指定されたURLは

http://127.0.0.1:3000/memos/search/

- 以下のform_tagが対応している。
 - デフォルト(省略時)はPOSTメソッドになる。



routesの確認

サーバを一旦停止し、プロジェクトのルートディレクトリで rake routes とコマンドを入力する。 左側に記載されている「名称」は、_pathをつけるとhtmlでの actionやメソッドと、controllerとactionが指定できる。

例:<%= link_to "戻る", memos_path %> など。

routesでの memos が、プログラム中では memos_path になる。

[root@cisnote	memopad	pad]# rake routes		
Prefix	Verb	URI Pattern	Controller#Actio	on
memos_search	POST	<pre>/memos/search(.:format)</pre>	memos#search	
categories	GET	/categories(.:format)	categories#index	х
	POST	/categories(.:format)	categories#creat	te
new_category	GET	/categories/new(.:format)	categories#new	
edit_category	GET	<pre>/categories/:id/edit(.:format)</pre>	categories#edit	
category	GET	/categories/:id(.:format)	categories#show	
	PATCH	/categories/:id(.:format)	categories#updat	te
	PUT	/categories/:id(.:format)	categories#updat	te
	DELETE	<pre>/categories/.id(.format)</pre>	categories#dest	roy
memos	DELETE GET	<pre>/categories/.id(.format) /memos(.:format)</pre>	categories#dest memos#index	roy
memos	DELETE GET POST	<pre>/categories/:id(·format) /memos(.:format) /memos(.:tormat)</pre>	memos#index memos#create	roy
memos new_memo	DELETE GET POST GET	<pre>/categories/:id(.format) /memos(.:format) /memos(.:format) /memos/new(.:format)</pre>	categories#dest memos#index memos#create memos#new	roy
new_memo edit_memo	DELETE GET POSI GET GET	<pre>/categories/:id(.format) /memos(.:format) /memos(.:format) /memos/new(.:format) /memos/:id/edit(.:format)</pre>	categories#dest memos#index memos#create memos#new memos#edit	roy
new_memos edit_memo memo	DELETE GET POST GET GET GET	<pre>/categories/:id(.format) /memos(.:format) /memos/new(.:format) /memos/new(.:format) /memos/:id/edit(.:format) /memos/:id(.:format)</pre>	categories#dest memos#index memos#create memos#new memos#edit memos#show	roy
memos new_memo edit_memo memo	GET POST GET GET GET PATCH	<pre>/categories/:id(.format) /memos(.:format) /memos/new(.:format) /memos/new(.:format) /memos/:id/edit(.:format) /memos/:id(.:format) /memos/:id(.:format)</pre>	categories#dest memos#index memos#create memos#new memos#edit memos#show memos#update	roy
memos new_memo edit_memo memo	DELETE GET POSI GET GET GET PATCH PUT	<pre>/categories/:id(.format) /memos(.:format) /memos/new(.:format) /memos/new(.:format) /memos/:id/edit(.:format) /memos/:id(.:format) /memos/:id(.:format) /memos/:id(.:format)</pre>	categories#dest memos#index memos#create memos#new memos#edit memos#show memos#update memos#update	roy
memos new_memo edit_memo memo	DELETE GET GET GET GET PATCH PUT DELETE	<pre>/categories/:id(.format) /memos(.:format) /memos/new(.:format) /memos/new(.:format) /memos/:id/edit(.:format) /memos/:id(.:format) /memos/:id(.:format) /memos/:id(.:format) /memos/:id(.:format)</pre>	categories#dest memos#index memos#create memos#new memos#edit memos#show memos#update memos#update memos#destroy	roy

POSTEGET

- HTMLからサーバへのデータの渡し方
 - Post: データの更新や書き込みなど。
 - Get: 必要なパラメータを渡して表示する。
- Searchの動作は、表示なので、本来は GETメソッドを使うべき。
 - 今回、POSTメソッドになっているsearchを GETに切り換えます。
 - 修正箇所
 - routes.rb (GETの指定にする。)
 - memos/_list.html.erb GETのパラメータを取り出す。

routesの確認

rake routesで、routesを確認する。

Getの中で、newやsearchのようにアクションを指定しているものは、:idの指定の前に来ているのは、先に解釈するため。

つまり、(バージョンにもよるが)resourcesの後に書く とうまくいかない場合がある。

[root@cisnote	memopad]# rake routes		
categories	GET	/categories(.:format)	categories#index
	POST	/categories(.:format)	categories#create
new_category	GET	/categories/new(.:format)	categories#new
edit_category	GET	/categories/:id/edit(.:format)	categories#edit
category	GET	/categories/:id(.:format)	categories#show
	PUT	/categories/:id(.:format)	categories#update
	DELETE	/categories/:id(.:format)	categories#destroy
memos_search	GET	/memos/search(.:format)	memos#search
memos	GET	/memos(.:format)	memos#index
	POST	/memos(.:format)	memos#create
new_memo	GET	/memos/new(.:format)	memos#new
edit_memo	GET	/memos/:id/edit(.:format)	memos#edit
memo	GET	/memos/:id(.:format)	memos#show
	PUT	/memos/:id(.:format)	memos#update
	DELETE	/memos/:id(.:format)	memos#destroy
[root@cisnote	memopa	41#	

config/routes.rb

config/routes.rbの修正 修正前 post 'memos/search' => 'memos#search' 修正後

get 'memos/search' => 'memos#search'



app/views/memos/_list.html.erb

app/views/memos/_list.html.erbの修正 修正前

<%= form_tag "/memos/search" do %>



<%= form_tag "/memos/search", :method => 'get' do %>



HTTPメソッドの種類

GET POST HEAD PUT DELETE TRACE OPTIONS

情報の要求 情報の送信 ヘッダ部分だけを要求 アップロード リソースの削除 リクエストをそのまま送り返す サーバが対応しているメソッド を取得

パラメータ:params[]配列

htmlのURLに?name=valueが付加される。

 erbファイル(HTMLに展開され)で、画面から入力された パラメータを、rubyのcontrollerで受け取れる。

 GETで渡されるパラメータは、外から見えているので、隠したいコンテンツなどはGETで要求するのは 不適切ということになる。

Started GET "/memos/search?utf8=%E2%9C%93&post%5Bcateg id%5D=1&commit=%E9%81%B8%
E6%8A%9E" for 127.0.0.1 at 2015-06-10 10:14:46 +0900
Processing by MemosController#search as HTML
Parameters: {"utf8"=>"√", "post"=>{"categ_id"=>"1"}, "commit"=>"選択"}
Category Load (0.2ms) SELECT "categories".* FROM "categories" WHERE "categories"."id" IS NULL LIMIT 1

画面formに記載できるタグ

<%= form_for(@foo) do |f| %> f.radio_button などで記述する。

□ ラジオボタン(選択式の●ボタン)

- f.radio_button
- □ チェックボックス(□ チェックボックス)
 - f.check_box
- □ 画像ファイルのアップロード用

file_field

■ file_fieldの動作は、次回検証します。

link_to

linkでは、クリックすると別の画面に移る。

<%= link_to '戻る', memos_path %>

- 画面に'戻る'と表示し、その文字列をクリックすると、routes のmemosに割り付けられたアクションを実行する。
- rake routesのリストの左側の「名前」に_pathをつけて読む。
- URLは/memosで、controllerはmemos, actionはindex

edit_category	GET	<pre>/categories/:id/edit(.:format)</pre>	categories#edit
category	GET	<pre>/categories/:id(.:format)</pre>	categories#show
	PUT	<pre>/categories/:id(.:format)</pre>	categories#update
	DELETE	<pre>/categories/:id(.:format)</pre>	categories#destroy
memos_search	GET	<pre>/memos/search(.:format)</pre>	memos#search
memos	GET	/memos(.:format)	memos#index
	POST	/memos(.:format)	memos#create
new_memo	GET	/memos/new(.:format)	memos#new
edit_memo	GET	<pre>/memos/:id/edit(.:format)</pre>	memos#edit
memo	GET	<pre>/memos/:id(.:format)</pre>	memos#show



Find / where

@memos = Memo.all (以前は、Memo.find(:all)だった。

@memos = Memo.where(category_id: params[:post][:categ_id])

@memo = Memo.find(params[:id])

@memo = Memo.new

左辺が複数か、単数かに注意する。/異なるインスタンスのclassを表現している。



適切なSQLを発行して、 データベースから値を 取得し、必要ならハッシュ配列に入れて返す

ハッシュの代入

:param => "abc" は param: "abc" と書くことができ、両方とも同じです。

コロン(:)の位置に注意!

respond_to / format.html

respond_toは、rails2からの記述

- respond_to do |format| のformatの中身は memosコントローラのアクション名(メソッド)
- □ だから、同名の ____.html.erbに飛ぶ。
- formatについて、htmlメソッドを実行し、
 引き続き、jsonメソッドを実行す <a>[memos_controller.rb 23] <a>[memos_controller.rb 23]
- htmlメソッドでは、 アドレスにjsonがなかったら index.html.erbを実行し、 jsonがついていたら 何もしない。



respond_to / format.json

 format.jsonでは アドレスに、jsonがついていなかったら何もしない

アドレスに.jsonがついていたら、

{ render json: @memo }

@memoをjson形式で表示

を実行する。

- JSON形式や、その他の形式にも対応するための仕掛けで、 XMLも記載できる。
- 書き方が{render :json => @memo}から変更された。

■ たったの数文字を削る修正。

当面index.html.erbだけ考えておけばよい。

:noticeの表示エリア

- views / memos / show.html.erbの先頭に
 <%= notice %>
- がある。これで :notice が表示される。



レンダリング

基本的に、アクション名と同じ.html.erbのファ イルで、HTMLを生成し(レンダリングし)、結 果を表示する。



今日の演習課題

■課題

- VmwareのホストOSからLINUXにアクセスして、
 メモを表示・入力する。
- 可能であれば、友人(知人)のPCにアクセスして、
 メモを表示・入力する。
- 入力されたパラメータを、コンソール画面で確認する。
- 知人からのアクセスは、うまくいく人とうまくいかない人が、例 年出てきます。うまくいかなかった人は、拘らずに諦めてくだ さい。原因究明に毎年手こずっていて、結局解決できたこと がありません。

課題の進め方

Step 1: VMwareの ネットワーク接続をブリッジ に切り替える。
Step 1-1: LINUXを再起動する。
Step 2: LINUXのIPアドレスを確認する。
Step 3: LINUXのファイアウォールを停止する。
Step 4: 外部公開可能モードでサーバを起動

Vmwareのネットワークアダプタ

VMwareの「仮想マシン」の ネットワークアダプタ を、「ブリッジ」に変更してください。 これで、次の手順が有効になります。 LINUXが起動済みの場合は、再起動してくださ い。

ネットワークアダプタ設定 (VMwareの画面)

Rails on Scientific Linux 6.0 - VMware Workstation ファイル (F) 編集 (E) 表示 (V) VM (M) タブ (T) ヘルプ (H) 仮想マシン設定 🕨 🗸 | 📇 | 🏷 📀 🖓 | 🔽 🔜 📜 🖏 | 📼 **ライブラリ** × ハードウェア オブション 🟫 ホーム 🗙 👘 Scientific Linux 6.x 🛛 🗙 👘 Q ここに入力して検索します デバイスのステータス 概要 デバイス Rails on Scientific Linux 接続済み(C) 🗉 🗐 マイ コンピュータ ፻፹ አቲካ 1 GB ✓パワーオン時に接続(0) 2 🔲 プロセッサ 🖶 Scientific Linux 🕁 ▶ この仮想マシンをパワーオンする → ハード ディスク(SCSI) 둼 Rails on Scientific Lir 20 GB ■ 「仮想マシンの設定を編集する ・ネットワーク接続・ 二、ハード ディスク 2(SCSI) 1 GB (事前に書り当て) 🖗 共有 VM CD/DVD(IDE) C:¥Software¥VMware¥linux.iso ファ... ● ブリッジ: 物理ネットワークに直接接続 (B) ▼ デバイス 🗖 フロッピー 自動検出 □ 物理ネットワーク接続の状態を複製(P) 三 メモリ 1 GB 寝ネットワーク アダプター ブリッジ(自動) 🚭 USB コントローラ あり ○ NAT: ホストの IP アドレスを共有して使用(N) プロセッサ 2 🜒 サウンド カード 自動検出 ○ ホストオンリー: プライベートネットワークをホストと共 二、ハードディスク(… 20 GB |■プリンタ| あり ○ カスタム:特定の仮想ネットワーク(U) ■ディスプレイ 自動検出 CD/DVD (IDE) C:¥Software¥... VMnet0 🔚 フロッピー 自動検出 ○ LAN セグメント (L) 🚭 USB コントローラ あり 自動検出 LAN セグメント (S)... 詳 🚔 プリンタ あり ■ディスプレイ 自動検出 ▼ 説明 ここにこの仮想マシンの説明を入力します。

Macでのbridge設定

Macを使っている場合は、以下を参照してください。

仮想マシン ウィンドウ ヘルプ	5 O
Linux は実行中	R _{SI} -
強制サスペンド	ð
強制再起動	💷 19:54 🚳 A
強制シャットダウン	
一時停止	
設定	
スナップショット ▶	
情報を見る 第1	^
キーの送信 Ctrl – Alt – Del の送信	00
VMware Tools のアップデート McAfee AntiVirus Plus のインストール	
ネットワーク アダプタ	ネットワーク アダプタ
ハードディスク(SCSI)	J NAT
ハード ディスク2 (SCSI) ►	ブリッジ(白動絵出)
CD/DVD (IDE)	ホストオンリー
サウンド カード	10A12122
USB & Bluetooth	ネットワーク アダプタ

LINUXファイアウォールの停止

VMware外部からのアクセスを許可します。 GNome端末で、以下のコマンドを叩きます。

sudo system-config-firewall-tui

LINUXを 再起動します。



自分のP (不要な手川 ローカルエリア接線	CのIPアドレス 頁です。参考ま 読をクリックし、「詳	で) 細1から
IPv4アドレスを読る	み取る。	
編集(E) 表示(V) ツール(T) ヘル レールパネルホーム 基本ネットワーンスネットワーク接続の詳細 ネットワーク接続の詳細 ネットワーク接続の詳細 ネットワーク接続の詳細 ネットワーク接続の詳細 ネットワーク接続の詳細 プロパティ 値 接続固有 DNS サフィックス 説明 Apple USB Ethernet Adapter 物理アドレス 10-9A-DD-43-00-EE DHCP 有効 (はい) IPv4 ジアドレス 192.168.0.11 IPv4 ジアドレス 2011年6月29日 リースの取得日 2011年7月2日 ロシロイギフラルト ゲートウェイ 192.168.0.1 IPv4 ジフォット キャパー 192.168.0.1 IPv4 DNS サーバー 192.168.0.1 IPv4 DNS サーバー 202.238.95.24	フ(H) -ク情報の表示と接続のセットアップ い い い ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ <th>フルマップの表示 -ネット</th>	フルマップの表示 -ネット

ブリッジでLINUXが使うIPアドレス

Windows上から見える VMwareのIPアドレス は、「公開」されていません。

ブリッジでは、LINUXが直接外部からIPアドレ スを取得しているため、LINUXが使い、公開 するアドレスは、Windowsの管理下にありま せん。

LINUX上で確認し、そのIPアドレスを直接 Windows上で打ち込みます。

ifconfig

LINUX上で、ifconfig のコマンドを実行して、 eth0のポートを確認してください。

この eth0のIPアドレスが、外部からアクセス可 能となります。

<u> root</u> @cisnote]# ifconfig
eth0 Link encap:Ethernet HWaddr 00:0C:29:39:9A:0A
inet addr:192.168.2.4 Bcast:192.168.2.255 Mask:255.255.255.0
UP BROADCAST RUNNING MULTICAST MTU:1500 Metric:1
RX packets:30 errors:27 dropped:0 overruns:0 frame:0
TX packets:2 errors:0 dropped:0 overruns:0 carrier:0
collisions:0 txgueuelen:1000
RX bytes:2330 (2.2 KiB) TX bytes:684 (684.0 b)
Interrupt:225 Base address:0x2024
Io Link encap:Local Loopback
inet addr:127.0.0.1 Mask:255.0.0.0
UP LOOPBACK RUNNING MTU:16436 Metric:1
RX packets:0 errors:0 dropped:0 overruns:0 frame:0
TX packets:0 errors:0 dropped:0 overruns:0 carrier:0
collisions:0 txgueuelen:0
RX bytes:0 (0.0 b) TX bytes:0 (0.0 b)
[root@cisnote ~1#

ifconfigコマンド

E root@cisnote:~ _ □
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 検索 (S) 端末(T) ヘルプ(H)
[root@cisnote ~]# ifconfig
eth0 Link encap:Ethernet HWaddr 00:0C:29:0E:FE:DF
inet addr:172.16.247.129 Bcast:172.16.247.255 Mask:255.255.255.0
UP BROADCAST RUNNING MULTICAST MTU:1500 Metric:1
RX packets:34 errors:0 dropped:0 overruns:0 frame:0
TX packets:20 errors:0 dropped:0 overruns:0 carrier:0
collisions:0 txqueuelen:1000
RX bytes:12073 (11.7 KiB) TX bytes:1815 (1.7 KiB)
lo Link encap:Local Loopback
inet addr: 127.0.0.1 Mask: 255.0.0.0
UP LOOPBACK RUNNING MTU:16436 Metric:1
RX packets:8 errors:0 dropped:0 overruns:0 frame:0
TX packets:8 errors:0 dropped:0 overruns:0 carrier:0
collisions:0 txqueuelen:0
RX bytes:400 (400.0 b) TX bytes:400 (400.0 b)
[root@cisnote ~]#

公開する際のサーバ起動

外部からアクセス可能にする場合には、サーバの起動コマンドに -b 0.0.0.0 のオプションをつけます。

アクセスは、

http://172.16.247.129:3000/memos

例(前ページのIPの場合): rails server --b 172.16.247.129

まず、 自分の Windows で 確認

LINUX内部のブラウザで、 http://127.0.0.1:3000/ と指定していたアドレスを、 http://172.16.247.129:3000/ などのように、LINUXが外部に開いたアドレス に、Windows上のブラウザで開いてみる。 これで開ければ、ほとんど、外からもOK。

知人のPCで自分のサイトを表示

- 友人に自分のIPアドレスを伝え、自分のアプリを開いて もらう。
- これまで、
 127.0.0.1:3000と
 入力していた
 アドレスを、
 読み取ったものに
 切り替える。例:

http://192.168.238.129:3000

 友人のPC上で表示 できればOK



console上でのチェック

友人からアクセスがあると、コンソールに反応 がある。

アクセスして来た PCのIPアドレス Started GET "/memos" for 192.168.11.5 at 2015-06-10 11:19:20 +0900 Cannot render console from 192.168.11.5! Allowed networks: 127.0.0.1, ::1, 127.0 .0.0/127.255.255.255 Processing by MemosController#index as HTML (0.3ms) SELECT COUNT(*) FROM "memos" Memo Load (0.2ms) SELECT "memos".* FROM "memos" Category Load (0.1ms) SELECT "categories".* FROM "categories" WHERE "categor ies"."id" = ? LIMIT 1 [["id", 2]] Category Load (0.1ms) SELECT "categories".* FROM "categories" WHERE "categor ies"."id" = ? LIMIT 1 [["id", 1]] Category Load (0.2ms) SELECT "categories".* FROM "categories" Rendered memos/_list.html.erb (14.3ms) Rendered memos/index.html.erb within layouts/application (15.4ms) Rendered shared/_menu_bar.html.erb (1.8ms) Completed 200 OK in 81ms (Views: 77.9ms | ActiveRecord: 0.8ms)



外部からアクセスできなかった人

自分のサーバに、友人から(外部から)アクセスできな かった場合でも、友人のサーバがアクセス可能にな っている場合には、その人のアドレスには接続して、 友人のサイトを見ることができます。

つながっている人のサーバを開いてみて、そのコンソ ールを確認してください。

第3レポート (最後から2番目)

- □ C•B評価までの課題
 - 自分で、自分のWEBサイトにアクセスしたときの、コンソールの画面をコピーして、添付して下さい。
- □ A評価までの課題
 - index画面(初期画面)にアクセスがあった時のコンソールの表示 で、記述のどの部分がどの処理に対応しているかを説明して下さい。
- □ 発展課題(S評価対象)
 - 上記までの説明に、SQLによるデータベースアクセスの解説を含めてください。
- □ 発展課題(1点加点)
 - LINUX上のfirewallを停止し、PCをまたいだ接続で、友人から自分のWEBサイトにアクセスしてもらって下さい。または、Vmwareのホスト(WindowsまたはMac)からアクセスして下さい。その時のコンソール画面を添付し、外部のIPアドレスを示しててください。

設定の復活

今日の課題では、サーバとしての動作設定を 行いましたので、「ファイアウォールの停止」 などを選択肢に含めました。

演習が終わったら、ファイアウォールを停止を 解除して、再起動してください。(演習だけ使 っている人も、ファイアウォールの停止は、演 習後に元に戻しましょう。)

system-config-firewall-tui失敗

設定は失敗しました /usr/sbin/lokkit -f -v --enabled --service=ssh iptables: ファイアウォールルールを消去中: [OK] iptables: チェインをポリシー ACCEPT へ設定中filter [OK] iptables: モジュールを取り外し中:[OK] ip6tables: モジュールを取り外し中:[OK] iptables: ファイアウォールルールを適用中: [OK] ip6tables: ファイアウォールルールを適用中: ip6tables-restore v1.4.7: ip6tablesrestore: unable to initialize table 'filter'

Error occurred at line: 3 Try `ip6tables-restore -h' or 'ip6tables-restore --help' for more information. [失敗] ip6tables の起動に失敗しました。

続行するにはエンターを押してください。 ^C 「root@cisnote ~]# □

Ip6tables失敗について

System-config-firewall-tuiを起動し、firewallを 有効に戻した際に、ip6tablesの起動に失敗 する可能性が大きいです。

ですが、これ自体は実害がないと判断されるた め、ここで表示される「失敗」は気にせずに次 に進んで下さい。

Ctrl+Cを入力すると、コマンドを終了できます。

今日の授業を休んだ人は・・・ □ レポート課題の報告を、欠席課題に兼ねます。



次回予告

- 次回は、今回までの「メモ帳」に「写真」のアッ プロード機能(と写真の表示)を追加します。
- 第11回は、ログイン機能(登録者のみ閲覧可能)の機能を追加します。
- この次からは、総復習として「MyTwitter」として、ゼロから作り直してみます。
- 皆さんは、自分なりのアレンジを行って下さい。